

第49期 決算公告

2024年6月20日

大分県大分市中央町2丁目9番22号
大分リース株式会社
代表取締役 武島 正幸

貸借対照表 (2024年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| (資産の部) | | (負債の部) | |
| 流動資産 | 24,318,398 | 流動負債 | 8,429,246 |
| 現金預金 | 548,295 | 買掛金 | 1,189,444 |
| リース債権 | 779,899 | 短期借入金 | 1,900,000 |
| リース投資資産 | 16,489,989 | 1年内返済予定長期借入金 | 4,389,000 |
| 割賦債権 | 6,638,606 | リース債務 | 19,017 |
| 未収リース料 | 45,929 | 前受リース料 | 48,192 |
| 前払費用 | 51,092 | 割賦未実現利益 | 404,825 |
| その他 | 52,116 | 未払法人税等 | 162,019 |
| 貸倒引当金 | △ 287,531 | 賞与引当金 | 13,289 |
| 固定資産 | 1,201,356 | その他 | 303,459 |
| 有形固定資産 | 525,208 | 固定負債 | 8,450,208 |
| リース賃貸資産 | 168,121 | 長期借入金 | 8,378,700 |
| 建物 | 48,185 | リース債務 | 29,507 |
| 建物附属設備 | 8,713 | 役員退職慰労引当金 | 7,350 |
| 器具備品 | 5,324 | 退職給付引当金 | 31,550 |
| 土地 | 279,431 | その他 | 3,100 |
| リース賃借資産 | 15,431 | | |
| その他 | 0 | 負債の部合計 | 16,879,455 |
| 無形固定資産 | 36,006 | (純資産の部) | |
| ソフトウェア | 4,659 | 株主資本 | 8,498,258 |
| リース賃借資産 | 29,214 | 資本金 | 60,000 |
| その他 | 2,132 | 利益剰余金 | 8,438,258 |
| 投資その他の資産 | 640,141 | 利益準備金 | 15,000 |
| 投資有価証券 | 334,728 | その他利益剰余金 | 8,423,258 |
| 関係会社株式 | 40,500 | 別途積立金 | 7,800,000 |
| 破産更生債権等 | 100,040 | 繰越利益剰余金 | 623,258 |
| 繰延税金資産 | 201,738 | 評価・換算差額等 | 142,040 |
| その他 | 63,173 | その他有価証券評価差額金 | 142,040 |
| 貸倒引当金 | △ 100,040 | 純資産の部合計 | 8,640,299 |
| 資産の部合計 | 25,519,754 | 負債・純資産の部合計 | 25,519,754 |

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

リース賃貸資産

リース契約期間を償却年数とし、リース契約期間満了時の見積処分価額を残存価額とする定額法のほか、リース賃貸資産の見積処分損失額を減価償却費として計上しております。

その他の有形固定資産

定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

| | |
|--------|--------|
| 建物 | 38年 |
| 建物附属設備 | 8年～15年 |
| 器具備品 | 5年～15年 |

その他の無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいて償却しております。

リース賃借資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース賃借資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース賃借資産

リース契約期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職金の支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務見込額に基づき、必要額を計上しております。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員の退職慰労金支給内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 収益費用の計上基準

ファイナンス・リース取引に係る売上高及び売上原価の計上基準

リース料を収受すべき時に売上高及び売上原価を計上する方法によっております。

割賦販売取引の会計処理方法

割賦販売取引は商品の引渡時に、その契約高の金額を割賦債権に計上し、割賦販売契約による支払日を基準として当該経過期間に対応する割賦売上高及び割賦原価を計上しております。

なお、期日未到来の割賦債権に対応する割賦未実現利益は、繰延処理して流動負債に計上しております。

2. 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

貸倒引当金 387,571 千円

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 295,396 千円

(2) 未経過リース期間にかかわるオペレーティング・リース契約債権 292,430 千円

(3) 1年を超えて入金期日の到来する営業債権等

リース債権 511,905 千円

リース投資資産 12,650,985 千円

割賦債権 3,410,712 千円

未経過リース期間にかかわるオペレーティング・リース契約債権 37,981 千円

計 16,611,585 千円

(4) 関係会社に対する金銭債権及び債務

短期金銭債権 765,958 千円

短期金銭債務 3,895,840 千円

長期金銭債務 4,578,200 千円

4. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産の主な発生要因は、割賦未実現利益及び貸倒引当金であります。

5. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

| 属性 | 会社等の名称 | 所在地 | 資本金 (百万円) | 事業の 内容 | 議決権等の 被所有割合 | 関係内容 | | 取引の内容 | 取引金額 (千円) | 科目 | 期末残高 (千円) |
|-----|-----------|------------|--------------|-----------|----------------|------------|-------------|----------------------|--------------|----------------------|--------------|
| | | | | | | 役員の 兼任等 | 事業上 の関係 | | | | |
| 親会社 | ㈱大分 銀行 | 大分市 府内町 | 19,598 | 銀行業 | 直接 100.0% | 兼任 3名 | 事業資金 の借入 | 短期事業 資金の借入 (注) | 4,100,000 | 短期 借入金 | 1,700,000 |
| | | | | | | | | 長期事業 資金の借入 (注) | 3,200,000 | 1年内 返済予定 長期借入金 | 2,195,840 |
| | | | | | | | | | | 長期 借入金 | 4,578,200 |

(注) 短期事業資金の借入及び長期事業資金の借入の利率は一般市中金利と同水準となっております。

6. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 72,002 円 49 銭

1株当たり当期純利益 1,916 円 60 銭